

令和9年度

和歌山大学大学院
経済学研究科 修士課程

学生募集要項



経済学研究科 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

【求める学生像】

経済学研究科において、入学者に求める知識・技能、能力は次のとおりである。

1. 学士課程の学びを経て経済社会への関心を持ち、大学院における専門分野の学修を可能にする基礎的な知識・技能を備えている人
2. 社会人としての経験を有し、大学院における専門分野の学修を可能にする基礎的な知識や技能と、経験的に獲得した実践的な知識・技能を備えている人
3. 諸外国における学修を経て我が国と経済社会への関心を持ち、大学院における専門分野の学修を可能にする基礎的な知識・技能と日本語運用能力を備えている人

【入学後の期待】

入学後には、学際的視点を獲得するための授業や、専門分野における学問的方法や理論を修得する授業、専門分野の研究を通して、幅広い見識、高度な専門知識とそれに基づく応用的能力(分析力・判断力等)を身につけ、次の人材になることを期待する。

1. 自ら先導して経済社会の課題を認識し解決に取り組もうとする意欲を持つ人
2. キャリア・アップし指導的役割を果たすことを希望する人
3. 多様な人々と関わり諸外国との懸け橋になりたい人
4. 見識を広め、課題に対して学問的に取り組むことを目指したい人

【入学者選抜の基本方針】

1. 一般選抜では、面接により、志望する研究テーマに関する学問的基礎知識や、経済社会への関心・学修意欲・研究の構想・修了後の希望進路を含む進学の目的意識等を総合的に評価し、入学者を選抜する。
2. 社会人特別選抜では、面接により、社会で培ったキャリアや、志望する研究テーマに関する学問的基礎知識・経済社会への関心・学修意欲・研究の構想・修了後の希望進路や関連分野におけるキャリア・アップの構想を含む進学の目的意識等を総合的に評価し、入学者を選抜する。
3. 私費外国人留学生特別選抜では、面接により、日本語によるコミュニケーション能力や、志望する研究テーマに関する学問的基礎知識・経済社会への関心・学修意欲・研究の構想・修了後の希望進路を含む進学の目的意識等を総合的に評価し、入学者を選抜する。

目 次

経済学研究科 学生募集に関する問い合わせ先等…………… 1

一般選抜・社会人特別選抜・私費外国人留学生特別選抜

I. 募集内容……………	1
II. 出願資格……………	4
III. 出願資格審査……………	6
IV. 出願手続等……………	6
V. 出願書類等……………	7
VI. 入学試験……………	11
VII. 入学手続等……………	13
VIII. その他……………	13
1. 税理士試験における一部科目の免除について	
2. 科目等履修生制度の活用	
3. 長期履修	
IX. 学生生活……………	14

コンビニエンスストアでの検定料払込方法……………16

入 試 日 程

※一般選抜、社会人特別選抜、私費外国人留学生特別選抜 共通

	出願期間		入学試験日		合格発表		入学手続期間
1 回目募集	5/22～5/27	⇒	7/11 (予備日 7/12)	⇒	7/31	⇒	3 月下旬
2 回目募集	9/25～9/30		11/1 (予備日 11/3)		11/13		
3 回目募集※	12/11～12/16		1/30 (予備日 1/31)		2/5		

※3回目募集は、2回目募集までの定員充足状況により、実施しない場合があります。
 実施の有無、募集人員については、2回目募集の合格発表後に本研究科ホームページでお知らせします。

(注) 出願資格審査が必要な者は、次の期日までに申請する必要があります。(P6「III 出願資格審査」参照)

- 1 回目募集：5月7日
- 2 回目募集：9月7日
- 3 回目募集：11月24日

経済学研究科 学生募集に関する問い合わせ先等

和歌山大学 学務課 経済学部係 (西5号館 学生センター内)

〈住所〉 〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

〈TEL〉 073-457-7805

〈E-mail〉 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp

和歌山大学大学院経済学研究科 ホームページ

<https://www.wakayama-u.ac.jp/eco/>



(注意)

- ・電話での問い合わせは、月～金曜日の9時から17時(12時から13時を除く)に行ってください。ただし、祝日・年末年始(12月29日～1月3日)・夏季一斉休業(8月12日～8月18日)を除きます。
- ・学生募集に関して重要な通知がある場合は、本研究科ホームページでお知らせしますので、出願前に確認してください。

一般選抜・社会人特別選抜・私費外国人留学生特別選抜

I 募集内容

1. 募集人員

入試区分	募集人員			
	専攻	1回目募集	2回目募集	3回目募集
一般選抜 社会人特別選抜 私費外国人留学生特別選抜	38名 経済学専攻	30名	8名 ※1	未定 ※2

※1 1回目募集で合格者数が募集人員に到達しなかった場合、不足人数を2回目募集の募集人員に加算します。出願前に本研究科ホームページで確認してください。

※2 3回目募集は、2回目募集までの定員充足状況により、実施しない場合があります。実施の有無、募集人員については、2回目募集の合格発表後に本研究科ホームページでお知らせします。

2. 募集する研究テーマ・プログラム一覧

研究テーマ2つおよびそのテーマに関連するプログラムの中から第一希望、第二希望のプログラムを選択のうえ、入学志願票に記入してください。

記入に際しては、「募集する研究テーマ・担当教員・プログラム一覧」を参照してください。

志望した研究テーマ・プログラムをもとに口頭試問を行い、指導教員が決まります。ただし、口頭試問の結果によっては、志望した研究テーマ・プログラムと異なる指導教員が選出されることがあります。

●募集する研究テーマ・担当教員・プログラム一覧

※入学志願票の志望する研究テーマ欄には、担当教員名ではなく、必ず研究テーマを記入してください。

研究区分	研究テーマ	担当教員	テーマに関連するプログラム						
			ATC	EAP	GBM	GPE	SAF	UBD	URT
経済理論・政策	エリアマネジメント	上野 美咲						○	○
	観光と地域活性化	足立 基浩					○	○	○
	経済活動に関係する思想・方法の分析	阿部 秀二郎				○	○		
	経済成長	丹羽 寿美子		○		○			○
	経済原論、資本主義	大澤 健			○	○		○	
	経済倫理	阿部 秀二郎				○	○		
	公益事業	上野 美咲						○	○
	公共経済学	齊藤 仁	○	○			○		○
	雇用システム論	岡田 真理子						○	○
	雇用と労働(制度論)	岡田 真理子						○	○
	財政学	齊藤 仁	○	○			○		○
	社会政策	岡田 真理子					○	○	○
	地域経済統合	岡部 美砂		○	○	○			
	マクロ経済学	丹羽 寿美子		○		○			○
	マクロ経済政策	丹羽 寿美子		○		○			○
	後発途上国のキャッチアップ	岡部 美砂		○	○	○			
	金融時系列データ分析	竹内 哲治	○	○	○				
	賃金・雇用の計量分析	中村 文香						○	○
	金融・証券・商品・エネルギー市場分析	竹内 哲治	○	○	○				
	ファイナンスとDX(フィンテック・エネルギーテック)	竹内 哲治	○	○	○				
雇用政策の効果検証	中村 文香						○	○	
組織の経済	宮下 稔規		○	○				○	
ゲーム理論	宮下 稔規		○	○				○	
ミクロ経済学	宮下 稔規		○	○				○	
グローバル経済	エネルギー経済学	藤井 淳	○	○		○			○
	エネルギービジネス	藤井 淳	○	○		○			○
	貨幣	片桐 謙				○			
	金融市場	片桐 謙				○			
	グローバリゼーション	大澤 健			○	○	○	○	
	決済システム	片桐 謙				○			
	国際関係論	藤木 剛康				○	○		○
	国際社会ビジネス	上野 美咲						○	
	国家主導資本主義経済	金澤 孝彰		○		○	○		○
	対外政策	藤木 剛康				○	○		○
	中国産業連関分析	金澤 孝彰		○		○	○		○
	習体制下の中国マクロ経済政策	金澤 孝彰		○		○	○		○
	通商政策	藤木 剛康				○	○		○
東南アジア経済	岡部 美砂		○	○	○				
情報	因果推論	中村 文香						○	○
	情報システム	芦田 昌也		○				○	○
	テキストマイニングの利用	芦田 昌也		○				○	○
	ネットワーク構造の特徴分析	芦田 昌也		○				○	○
地域経済	観光まちづくり、地域活性化	大澤 健			○	○	○	○	
	交通	辻本 勝久		○		○		○	○
	バリアフリー・ユニバーサルデザイン	辻本 勝久						○	○
	地域レジリエンス	辻本 勝久		○		○		○	○
	社会基盤	辻本 勝久		○		○		○	○
	地域社会と福祉法制	金川 めぐみ	○				○	○	○
	地方財政論	齊藤 仁	○	○			○		○
	地方都市再生	足立 基浩					○	○	○
	中心市街地活性化	足立 基浩					○	○	○
	農業の振興・活性化	岸上 光克			○	○	○	○	
	農山漁村の振興・活性化(地域づくり)	岸上 光克			○	○	○	○	
	農産物の流通とマーケティング	岸上 光克			○	○	○	○	
物流・ロジスティクス	辻本 勝久		○		○		○	○	

研究区分	研究テーマ	担当教員	テーマに関連するプログラム						
			ATC	EAP	GBM	GPE	SAF	UBD	URT
金融・ファイナンス	イスラム金融 Islamic Finance	Nabil Maghrebi				○	○		
	イスラム政治経済 Islamic Political Economy	Nabil Maghrebi				○	○		
	エネルギーファイナンス	藤井 淳	○	○		○			○
	エネルギー投資・金融 Energy Investment & Finance	Nabil Maghrebi		○	○				
	金融・エネルギーデリバティブ Energy and Financial Derivatives	Nabil Maghrebi		○	○				
	国際金融市場 International Financial Markets	Nabil Maghrebi			○	○			
ファイナンス理論 Finance Theory	Nabil Maghrebi		○	○	○	○			
歴史・学史	エネルギー経済史	長廣 利崇		○	○	○	○	○	○
	企業経営の歴史	長廣 利崇		○	○	○	○	○	○
	企業対話の歴史	高見 直樹						○	
	経営学史	高見 直樹						○	
	経営学説史	高見 直樹						○	
	経済学・経済思想の歴史	阿部 秀二郎				○	○		
	日本経済の歴史	長廣 利崇		○	○	○	○	○	○
経営	資本コストの寄附効果	高岡 伸行			○				
	公共マネジメント	関下 弘樹	○		○				
	人的資本	厨子 直之			○			○	
	商業集積	柳 到亨			○		○	○	○
	非財務情報の測定	厨子 直之			○			○	
	人的資本の統計モデリング	厨子 直之			○			○	
	事業形態変遷史	高岡 伸行			○				
	事業継承	柳 到亨			○		○	○	○
	比較制度論	高岡 伸行			○				
	流通システム	柳 到亨			○		○	○	○
	構造的慣性	西釜 義勝			○			○	
	社会構成主義	西釜 義勝			○			○	
	組織生態学	西釜 義勝			○			○	
会計	会計監査	藤原 靖也	○		○			○	
	管理会計	藤原 靖也	○		○			○	
	業績管理	藤原 靖也	○		○			○	
	原価計算	岡橋 充明	○	○	○				
	財務会計論	山田 恵一	○						
	税効果会計	山田 恵一	○						
	税務会計学	山田 恵一	○						
	戦略とコスト・マネジメント	岡橋 充明	○	○	○				
	戦略と成果	岡橋 充明	○	○	○				
	地方公会計	関下 弘樹	○		○		○		○
非営利組織会計	関下 弘樹	○		○					
法律	会社法	清弘 正子	○						
	会社法判例	清弘 正子	○						
	株式会社法	清弘 正子	○						
	行政法	森口 佳樹	○						
	経済生活と社会保障法	金川 めぐみ	○				○	○	○
	憲法	森口 佳樹	○						
	社会福祉の法と生活	金川 めぐみ	○				○	○	○
	租税判例	片山 直子・北田 泰隆	○	○			○		
	租税法	片山 直子・北田 泰隆	○	○			○		
	地方自治法	森口 佳樹	○						
	納税者の権利救済	片山 直子・北田 泰隆	○	○			○		

● プログラム一覧

ATC	会計・税法・企業コンサルティング	EAP	エネルギー・アナリティクス&政策	GBM	グローバルビジネスマネジメント
GPE	グローバル政治経済	SAF	サステナブルアグリビジネス&フードシステム		
UBD	都市ビジネスデザイン	URT	都市・地域と交通		

(注) 募集する研究区分・研究テーマ一覧が変更になる場合があります。
出願前に本研究科ホームページにて確認してください。

また、本研究科ホームページには以下の情報も掲載しています。

【研究指導担当教員一覧】

<https://www.wakayama-u.ac.jp/eco/admission/graduate/graduateschool-eco-admission.html>



II 出願資格

1. 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 大学を卒業した者及び令和9年(2027年)3月末までに卒業見込みの者。
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和9年(2027年)3月末までに授与される見込みの者。(注1)
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年(2027年)3月末までに修了見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年(2027年)3月末までに修了見込みの者。
- (5) 文部科学大臣の指定した者及び令和9年(2027年)3月末までに該当する見込みの者。(昭和28年文部省告示第5号)
- (6) 令和9年(2027年)3月末で大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者。(注2)※
- (7) 外国において、学校教育における15年の課程を修了した者及び令和9年(2027年)3月末までに修了見込みの者で、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者。※
- (8) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和9年(2027年)3月末までに修了見込みの者。
- (9) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって学校教育法施行規則第155条第1項第4号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者。
- (10) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で、文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和9年(2027年)3月末までに修了見込みの者。
- (11) 文部科学大臣が指定した専門課程適格専攻科を修了した者及び令和9年(2027年)3月末までに修了見込みの者。
- (12) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び令和9年(2027年)3月末までに22歳に達する者。※

※ 出願するためには、出願資格審査に合格する必要があります。(P6「III 出願資格審査」参照)

(注1) 大学改革支援・学位授与機構(学位授与機構及び大学評価・学位授与機構を含む)から学士の学位を授与された者及び授与される見込みの者をいう。

(注2) 出願資格(6)による志願者は、次の条件をすべて満たしていなければなりません。

① 出願時に大学の3年次に在学していること。

② 2年次までに80単位以上を修得していること。

③ 3年次終了時まで112単位以上(うち、専門教育科目68単位以上)を修得する見込みがあり、かつ、そのうちの78単位以上がAまたは優以上の成績(点数評価の場合は満点の8割以上)であること。

2. 社会人特別選抜

次の各号のいずれかに該当する者で、最終学歴となる学校を卒業(修了)又は当該資格を取得した後、社会人の経験を2年以上有し、かつ24歳に達した者及び令和9年(2027年)3月末までに24歳に達する者。

- (1) 大学を卒業した者。
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者。(注)
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者。
- (5) 文部科学大臣の指定した者。(昭和28年文部省告示第5号)
- (6) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
- (7) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって学校教育法施行規則第155条第1項第4号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者。
- (8) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で、文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者。
- (9) 文部科学大臣が指定した専門課程適格専攻科を修了した者。
- (10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。※

※ 出願するためには、出願資格審査に合格する必要があります。(P6「III 出願資格審査」参照)

(注) 大学改革支援・学位授与機構(学位授与機構及び大学評価・学位授与機構を含む)から学士の学位を授与された者をいう。

3. 私費外国人留学生特別選抜

日本国籍を有しない者(日本国の永住者及び定住者を除く)で、次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年(2027年)3月末までに修了見込みの者。(注1)
- (2) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年(2027年)3月末までに修了見込みの者。
- (3) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和9年(2027年)3月末までに修了見込みの者。
- (4) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である

- 課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって学校教育法施行規則第155条第1項第4号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者。
- (5) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者及び令和9年(2027年)3月末までに修了見込みの者で、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者。(注2)※
- (6) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び令和9年(2027年)3月末までに22歳に達する者。※

※ 出願するためには、出願資格審査に合格する必要があります。(P6「III 出願資格審査」参照)

- (注1) 日本の大学の学部を卒業(見込み)の者は、1. 一般選抜への出願となります。大学を卒業しているが、学位を取得していない者及び令和9年(2027年)3月末までに卒業見込みであるが、学位を取得見込みでない者は、出願資格審査に合格する必要があります。
- (注2) 中国の3年制大学(専科)卒業生は、3. 私費外国人留学生特別選抜(6)への出願となり、出願資格審査に合格する必要があります。

III 出願資格審査

次の出願資格による志願者は、事前に出願資格の審査を行います。

- ・一般選抜出願資格の(6)、(7)、(12)
- ・社会人特別選抜出願資格の(10)
- ・私費外国人留学生特別選抜出願資格の(5)、(6)

該当する志願者は、申請書等必要書類を取り揃えの上、次の期日までに必ず申請してください。

- 1 回目募集：令和8年(2026年)5月7日(木)
2 回目募集：令和8年(2026年)9月7日(月)
3 回目募集：令和8年(2026年)11月24日(火)

※ 3 回目募集は、2 回目募集までの定員充足状況により、実施しない場合があります。

実施の有無、募集人員については、2 回目募集の合格発表後に本研究科ホームページでお知らせします。

申請書は学務課経済学部係にあります。問合せ等は、上記期日の1週間前までに同係に連絡してください。

IV 出願手続等

1. 出願方法

「V 出願書類等」に記載した書類を一括して、郵送または持参により提出してください。

本研究科所定用紙は以下の経済研究科入試情報ページからダウンロードし、A4サイズ片面でカラー印刷してください。

※ダウンロード場所：和歌山大学>経済学部・経済学研究科>入試情報>大学院(経済学研究科)入試関連情報>大学院(経済学研究科)入試情報

<https://www.wakayama-u.ac.jp/econo/admission/graduate/graduateschool-econo-admission.html>

2. 注意事項

出願書類に不備がある場合は受理しません。出願手続後は、記載事項の変更は認めません。既納の入学検定料及び出願書類は返還しません。

記入事項に偽りがあったときは、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

出願後、上記の出願書類等以外に、本研究科が必要とする書類を求めることがあります。

外国から出願をされる方は、事前に学務課経済学部係に連絡してください。(TEL +81-73-457-7805)

3. 出願期間及び提出先

(出願期間)

1 回目募集	令和 8 年(2026年) 5 月22日(金)～5 月27日(水) 平日の 9 時～17時受付 (12時から13時は除く)
2 回目募集	令和 8 年(2026年) 9 月25日(金)～9 月30日(水) 平日の 9 時～17時受付 (12時から13時は除く)
3 回目募集	令和 8 年(2026年)12月11日(金)～12月16日(水) 平日の 9 時～17時受付 (12時から13時は除く)

※ 3 回目募集は、2 回目募集までの定員充足状況により、実施しない場合があります。

実施の有無、募集人員については、2 回目募集の合格発表後に本研究科ホームページでお知らせします。

※日本国外在住者は、ビザ取得に時間を要するため、1・2 回目募集で出願して下さい。

- ・ 郵送の場合は、速達・書留郵便で送付してください。(締切日必着)
- ・ 受験票は、次の期日までに志願者あてに発送します。

- ・ 1 回目募集：令和 8 年(2026年) 7 月 3 日(金)
- ・ 2 回目募集：令和 8 年(2026年)10月30日(金)
- ・ 3 回目募集：令和 9 年(2027年) 1 月25日(月)

〈出願書類等の提出(送付)先〉

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学学務課経済学部係(西5号館 学生センター内)

4. 受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願時までにその旨を申し出てください。

また、出願後においても、不慮の事故等により受験上及び修学上の配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

なお、受験上の配慮については内容によって対応に時間を要し、試験日までに対応できず、配慮が講じられないこともありますので、できるだけ早い時期にご相談ください。

V 出願書類等

次のいずれの入試区分においても、出願書類はすべて原本とし、コピーは認めません(研究内容報告書と在留カードまたは旅券を除く)。原本の返却が必要な場合は、出願前に別途ご相談ください。証明書類を除くすべての提出書類について、氏名表記(漢字、英字等)は統一してください。

1. 一般選抜

(注1) 日本語以外による証明書の場合は、訳文(日本語訳)を添付してください。

(注2) 証明書の姓と現在の姓が異なる場合は、戸籍抄本等旧姓を確認できるものを添付してください。

出願書類等	注意事項等							
入学志願票	<u>本研究科所定用紙。</u>							
取得資格等確認票	<u>本研究科所定用紙。</u>							
受験票・写真票	<u>本研究科所定用紙。</u> 写真を貼付してください。							
研究内容報告書	P11「VI 入学試験 2. 研究内容報告書について」に従って、受験者本人が作成してください。同一のものを5部(コピー可)提出してください。							
成績証明書	出身大学等の長が作成し、厳封したもの。 ただし、編入学により大学へ入学した者については編入学前の学校(短期大学、高等専門学校等)の成績証明書も併せて提出してください。							
卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書	出願資格(2)、(6)に該当する者は提出不要。							
学位授与証明書	出願資格(2)に該当する者のみ必要。 学位取得見込者は、在籍する短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科の修了見込証明書と学士の学位の授与を申請する予定である旨の短期大学長又は高等専門学校長の証明書。							
在留カードまたは旅券の写	「在留カード」の交付を受けている者は、カードの表面と裏面のコピーを提出してください。 「在留カード」の交付を受けていない者は、パスポートのコピー(国籍、氏名等が記載されたページと在留資格・在留期間等が記載されたページ)を提出してください。							
あて名票	<u>本研究科所定用紙。</u> 住所、氏名、郵便番号を明記してください。							
「受験票在中」封筒	<u>本研究科所定用紙</u> 『「受験票在中」封筒貼付用宛名シート』に受験票受取住所、氏名、郵便番号を明記し、 長形3号封筒 に貼付してください。また、410円分の切手(郵便料金が改定された場合は改定後の料金)を貼付してください。							
「出願書類在中」封筒	<u>本研究科所定用紙</u> 『「出願書類在中」封筒貼付用宛名シート』に必要事項を記入し、出願書類一式を封入した 角形2号封筒 に貼り付けて提出してください。							
入学検定料 「振込金受付証明書(C票)」 または 「収納証明書」	30,000円 以下の2つの納入方法のうちいずれかの方法でお支払いください。 (注) 出願書類受理後は入学検定料の返還はできません。							
金融機関	<u>本研究科所定用紙「振込依頼書」</u> により金融機関の窓口にてお振込ください。その際に受領した「振込金受付証明書(C票)」を「入学志願票」の所定欄に貼り付けてください。 (注) 「振込金受付証明書(C票)」に取扱金融機関の収納印があることを必ず確認してください。収納印のないものは無効です。							
コンビニエンスストア (日本国内に限る)	詳細はP16を参照して、お支払いください。 「入学検定料・選考料取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取って「入学志願票」の所定欄に貼付して提出してください。 なお、払込期間が次のとおり決まっていますので、ご注意ください。							
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">払込期間</td> <td>1回目募集</td> <td>令和8年(2026年)5月1日(金)～5月27日(水) 15時</td> </tr> <tr> <td>2回目募集</td> <td>令和8年(2026年)9月1日(火)～9月30日(水) 15時</td> </tr> <tr> <td>3回目募集</td> <td>令和8年(2026年)11月1日(日)～12月16日(水) 15時</td> </tr> </table>	払込期間	1回目募集	令和8年(2026年)5月1日(金)～5月27日(水) 15時	2回目募集	令和8年(2026年)9月1日(火)～9月30日(水) 15時	3回目募集	令和8年(2026年)11月1日(日)～12月16日(水) 15時
払込期間	1回目募集		令和8年(2026年)5月1日(金)～5月27日(水) 15時					
	2回目募集		令和8年(2026年)9月1日(火)～9月30日(水) 15時					
	3回目募集	令和8年(2026年)11月1日(日)～12月16日(水) 15時						

2. 社会人特別選抜

(注1) 日本語以外による証明書の場合は、訳文(日本語訳)を添付してください。

(注2) 証明書の姓と現在の姓が異なる場合は、戸籍抄本等旧姓を確認できるものを添付してください。

出願書類等	注意事項等							
入学志願票	<u>本研究科所定用紙。</u>							
取得資格等確認票	<u>本研究科所定用紙。</u>							
受験票・写真票	<u>本研究科所定用紙。</u> 写真を貼付してください。							
研究内容報告書	P11「VI 入学試験 2. 研究内容報告書について」に従って、受験者本人が作成してください。 <u>同一のものを5部(コピー可)提出してください。</u>							
職歴等証明書	過去2年間以上の職歴、その他社会人としての経験を証明する文書。							
成績証明書	出身大学等の長が作成し、厳封したもの。 ただし、編入学により大学へ入学した者については編入学前の学校(短期大学、高等専門学校等)の成績証明書も併せて提出してください。							
卒業(修了)証明書	出願資格(2)に該当する者は提出不要。							
学位授与証明書	出願資格(2)に該当する者のみ必要。							
在留カードまたは旅券の写	「在留カード」の交付を受けている者は、カードの表面と裏面のコピーを提出してください。 「在留カード」の交付を受けていない者は、パスポートのコピー(国籍、氏名等が記載されたページと在留資格・在留期間等が記載されたページ)を提出してください。							
あて名票	<u>本研究科所定用紙。</u> 住所、氏名、郵便番号を明記してください。							
「受験票在中」封筒	<u>本研究科所定用紙</u> 『「受験票在中」封筒貼付用宛名シート』に受験票受取住所、氏名、郵便番号を明記し、 長形3号封筒 に貼付してください。また、410円分の切手(郵便料金が改定された場合は改定後の料金)を貼付してください。							
「出願書類在中」封筒	<u>本研究科所定用紙</u> 『「出願書類在中」封筒貼付用宛名シート』に必要事項を記入し、出願書類一式を封入した 角形2号封筒 に貼り付けて提出してください。							
入学検定料 「振込金受付証明書(C票)」 または 「収納証明書」	30,000円 以下の2つの納入方法のうちいずれかの方法でお支払いください。 (注) 出願書類受理後は入学検定料の返還はできません。							
金融機関	<u>本研究科所定用紙「振込依頼書」</u> により金融機関の窓口にてお振込ください。その際に受領した「振込金受付証明書(C票)」を「入学志願票」の所定欄に貼り付けてください。 (注) 「振込金受付証明書(C票)」に取扱金融機関の収納印があることを必ず確認してください。収納印のないものは無効です。							
コンビニエンスストア (日本国内に限る)	詳細はP16を参照して、お支払いください。 「入学検定料・選考料取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取って「入学志願票」の所定欄に貼付して提出してください。 なお、払込期間が次のとおり決まっていますので、ご注意ください。							
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">払込期間</td> <td>1回目募集</td> <td>令和8年(2026年)5月1日(金)～5月27日(水) 15時</td> </tr> <tr> <td>2回目募集</td> <td>令和8年(2026年)9月1日(火)～9月30日(水) 15時</td> </tr> <tr> <td>3回目募集</td> <td>令和8年(2026年)11月1日(日)～12月16日(水) 15時</td> </tr> </table>	払込期間	1回目募集	令和8年(2026年)5月1日(金)～5月27日(水) 15時	2回目募集	令和8年(2026年)9月1日(火)～9月30日(水) 15時	3回目募集	令和8年(2026年)11月1日(日)～12月16日(水) 15時
払込期間	1回目募集		令和8年(2026年)5月1日(金)～5月27日(水) 15時					
	2回目募集		令和8年(2026年)9月1日(火)～9月30日(水) 15時					
	3回目募集	令和8年(2026年)11月1日(日)～12月16日(水) 15時						

3. 私費外国人留学生特別選抜

(注) 日本語以外による証明書の場合は、訳文(日本語訳)を添付してください。

出願書類等	注意事項等							
入学志願票	<u>本研究科所定用紙。</u>							
取得資格等確認票	<u>本研究科所定用紙。</u>							
受験票・写真票	<u>本研究科所定用紙。</u> 写真を貼付してください。							
研究内容報告書	<u>P11「VI 入学試験 2. 研究内容報告書について」に従って、受験者本人が作成してください。同一のものを5部(コピー可)提出してください。</u>							
成績証明書	出身大学等の長が作成し、厳封したもの。 ただし、編入学により大学へ入学した者については編入学前の学校(短期大学、高等専門学校等)の成績証明書も併せて提出してください。							
卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書	出身大学等の長が作成したもの。 外国の大学を卒業した者は、卒業証書の写し、学位証書の写しをあわせて提出してください。 中国の教育機関出身者は、「中国高等教育学生信息网(CHSI)」(https://www.chsi.com.cn/)が発行する学歴認証報告書(卒業証書、学位証書)(英語版)を、出願期間最終日の16時までCHSIから和歌山大学学務課経済学部係(学生センター)(ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp)に直接送信されるように手続きしてください。なお、大学を卒業する見込みの者については、卒業及び学位取得後、速やかに送信されるように手続きしてください。							
在留カードまたは旅券の写	「在留カード」の交付を受けている者は、カードの表面と裏面のコピーを提出してください。 「在留カード」の交付を受けていない者は、パスポートのコピー(国籍、氏名等が記載されたページと在留資格・在留期間等が記載されたページ)を提出してください。							
あて名票	<u>本研究科所定用紙。</u> 住所、氏名、郵便番号を明記してください。							
「受験票在中」封筒	<u>本研究科所定用紙</u> 『「受験票在中」封筒貼付用宛名シート』に受験票受取住所、氏名、郵便番号を明記し、 長形3号封筒 に貼付してください。また、410円分の切手(郵便料金が改定された場合は改定後の料金)を貼付してください。							
「出願書類在中」封筒	<u>本研究科所定用紙</u> 『「出願書類在中」封筒貼付用宛名シート』に必要事項を記入し、出願書類一式を封入した 角形2号封筒 に貼り付けて提出してください。							
入学検定料 「振込金受付証明書(C票)」 または 「収納証明書」	30,000円 以下の2つの納入方法のうちいずれかの方法でお支払いください。 (注) 出願書類受理後は入学検定料の返還はできません。							
金融機関	<u>本研究科所定用紙「振込依頼書」</u> により金融機関の窓口にてお振込ください。 その際に受領した「振込金受付証明書(C票)」を「入学志願票」の所定欄に貼り付けてください。 (注) 「振込金受付証明書(C票)」に取扱金融機関の収納印があることを必ず確認してください。収納印のないものは無効です。							
コンビニエンスストア (日本国内に限る)	詳細はP16を参照して、お支払いください。 「入学検定料・選考料取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取って「入学志願票」の所定欄に貼付して提出してください。 なお、払込期間が次のとおり決まっていますので、ご注意ください。							
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="3">払込期間</td> <td>1回目募集</td> <td>令和8年(2026年)5月1日(金)～5月27日(水) 15時</td> </tr> <tr> <td>2回目募集</td> <td>令和8年(2026年)9月1日(火)～9月30日(水) 15時</td> </tr> <tr> <td>3回目募集</td> <td>令和8年(2026年)11月1日(日)～12月16日(水) 15時</td> </tr> </tbody> </table>	払込期間	1回目募集	令和8年(2026年)5月1日(金)～5月27日(水) 15時	2回目募集	令和8年(2026年)9月1日(火)～9月30日(水) 15時	3回目募集	令和8年(2026年)11月1日(日)～12月16日(水) 15時
払込期間	1回目募集		令和8年(2026年)5月1日(金)～5月27日(水) 15時					
	2回目募集		令和8年(2026年)9月1日(火)～9月30日(水) 15時					
	3回目募集	令和8年(2026年)11月1日(日)～12月16日(水) 15時						

VI 入学試験

1. 試験方法

研究内容報告書等の出願書類をもとに30分程度の口頭試問を行い、学力、問題意識、学習意欲等を総合的に判定します。配点は100点とします。

※一部の面接員が、オンライン会議システム等を利用して遠隔的に参加する場合があります。

2. 研究内容報告書について

研究内容報告書は面接に際して最も重要な資料となります。これまでの学習・研究内容と入学後の研究計画を、以下の点に注意して、論述してください。

(1) 内容

- ・これまでの学習・研究内容を羅列するのではなく、これまでの学習・研究によって、どのような問題に関心を持つに至ったかを説明してください。
- ・その問題について、これまでどのような先行研究があるのか、どのような事象が発生しているのか(発生したのか)を論述してください。
- ・その問題についてどのような課題が残っており、今後どのような研究を行おうとしているのかを述べてください。

(2) 様式

- ・他の文献を引用・要約する際には、その点を明記し、どの文献のどの箇所であるかを特定してください。
- ・上記の他、研究内容報告書の様式については、学術論文を参考にしてください。

(3) 言語

- ・日本語とします。

(4) 形式

- ・A4用紙(縦長・片面印刷)5枚以内に、横書きで、5部(同一のものを5部)作成してください。
- ・パソコン等を使用し、作成してください。
- ・ページ設定は、1行あたりの文字数は40文字、1枚あたりの行数は36行を目安に作成してください。
- ・本文は4,000字以内で作成し、図表、注、文末の参考文献は文字数に含めません。
- ・1ページ目の最上部に、「研究内容報告書」と「氏名」を明記してください。

(5) その他の注意事項

- ・研究内容報告書の言語・形式が上記の要件を満たしていない場合、出願書類の不備と見なします。

3. 入学試験日及び試験場

(1) 入学試験日

1回目募集	令和8年(2026年)7月11日(土)〔予備日〕7月12日(日)
2回目募集	令和8年(2026年)11月1日(日)〔予備日〕11月3日(火)
3回目募集	令和9年(2027年)1月30日(土)〔予備日〕1月31日(日)

- ・個々の受験者の試験日時と集合時刻については、受験票送付時に通知します。

※自然災害等の理由により、試験日に実施できない場合、予備日に実施します。

その際の実施については、決定次第、本研究科ホームページに掲載します。

(2) 試験場

和歌山大学

4. 合格者の発表

下記の合格者発表日時に、合格者の受験番号を本研究科ホームページ

(<https://www.wakayama-u.ac.jp/eco/>)に掲載するとともに、合格者には合格者発表日に合

格通知書を発送します。不合格者への通知は行いません。

なお、合否等の電話・メール等による問い合わせには一切応じません。

発表日時

- 1 回目募集：令和 8 年(2026年) 7 月31日(金) 午前10時(予定)
- 2 回目募集：令和 8 年(2026年)11月13日(金) 午前10時(予定)
- 3 回目募集：令和 9 年(2027年) 2 月 5 日(金) 午前10時(予定)



掲載開始時刻は多少前後することがあります。

なお、機器の状態などにより、ホームページによる掲示を中断、あるいは中止することがあります。

5. 入試情報開示

- (1) 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数は、和歌山大学ホームページ等で開示します。
また、入試区分ごとに、合格者の最高点、最低点、平均点を、和歌山大学ホームページ等で開示します(ただし、募集人員または合格者のいずれかが10人以下の場合は開示しません)。和歌山大学ホームページURL <http://www.wakayama-u.ac.jp/target/applicants.html>

- (2) 試験成績は、受験者本人の請求により次のとおり開示します。

①開示時期 1 回目募集：

令和 8 年(2026年) 9 月 1 日(火)～10月30日(金)まで。
窓口での請求の場合は、同期間内の月～水の 9 時～17時。
(祝日を除く。)

2 回目募集・3 回目募集：

令和 9 年(2027年) 4 月30日(金)～6 月30日(水)まで。
窓口での請求の場合は、同期間内の月～水の 9 時～17時。
(祝日を除く。)

②開示内容：得点および順位。ただし、順位は、募集人員または合格者のいずれかが10人以下の場合は開示しません。

③開示方法：窓口または郵送にて受け付けます。

ア. 窓口での受付 ※申請受付当日の開示はできません。

試験成績開示申請書(本学所定様式)に記入のうえ、申し込んでください。

《提出書類》

・本学の受験票(原本) ※確認後返却します。

イ. 郵送による受付

本学あての封筒の表に「成績開示請求」と朱書きし、必要書類を同封のうえ、開示期間内に必着するように、下記の開示場所まで郵送してください。

《提出書類》

・返信用封筒(長形3号の封筒に、簡易書留郵便料金として460円分の郵便切手を貼付し、受験者本人あての郵便番号・住所・氏名を明記したもの)

◎郵便料金が改定された場合は、改定後の郵便料金分の切手を貼付してください。

・試験成績開示申請書(本学所定様式)

・本学の受験票(原本) ※確認後返却します。

④開示場所：〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学学務課経済学部係(西5号館 学生センター内)



6. 個人情報の取り扱いについて

本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する規程」等に基づき、厳密に取り扱います。

1. 出願書類等に記載された個人情報は、「入学者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発

表」、「入学手続」の入試業務、「入試の改善や志願動向等の調査・研究」、「その他の本学における諸調査・研究等」を行うために利用します。出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学に出願していることを、保護者等又は出身学校に連絡する場合があります。

なお、入学者については、「入学者の受入準備」、「教務関係(学籍管理、修学指導等)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金業務、就職支援等)」、「授業料等収納業務」を行うために利用します。

2. 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、「入試結果の集計・分析」、「入学者選抜方法の調査・研究」及び「学生支援関係(授業料免除・奨学金業務等)」を行うために利用します。
3. 一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して個人情報を提供します。
4. 捜査機関等が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて、相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供します。

VII 入学手続等

合格者には、入学手続書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。

※期間内に入学手続を行わなかった場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

※入学手続完了後、令和9年(2027年)3月末までに入学資格を満たさなかった場合は、入学許可を取り消します。

1. 入学手続期間

入学手続期間は令和9年(2027年)3月下旬の予定です。

合格者には、令和9年(2027年)2月中旬に入学手続関係書類を送付する予定です。

※外国人留学生に限り、査証取得に日数を要することから、希望により2月中旬、3月中旬に入学手続を行うことができます。詳しくは合格通知書とともにお知らせします。

2. 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円(前期分267,900円)

注) 上記記載の金額は、令和8年(2026年)度のものです。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

- ・令和9年(2027年)度入学者の納付金額については、決定次第、別途お知らせします。
- ・納入された入学料は、返還しません。

VIII その他

1. 税理士試験における一部科目の免除について

税理士の資格を取得するためには、国税庁が実施する税理士試験(会計2科目、税法3科目の計5科目)に合格しなければなりません。ただし、一定の要件を満たす場合には、一部の科目が免除される制度があります。(本学大学院経済学研究科に進学し、会計学の研究によって学位を得た場合には会計科目のうち1科目が、税法学の研究によって学位を得た場合には税法科目のうち2科目が免除されることがあります。)

詳細は、国税庁ホームページ <https://www.nta.go.jp> をご覧ください。

2. 科目等履修生制度の活用

和歌山大学大学院経済学研究科(以下、本研究科)では、本研究科修士課程に正規生として入学する前に、科目等履修生として入学することで次の制度を活用できます。

・既修得単位認定制度

本研究科科目等履修生が正規生の入学試験に合格すると、科目等履修生で修得した科目が18単位まで既修得単位として認められることがあります*。(他大学大学院における修得単位は、10単位までしか認定されません。)

栄谷キャンパス、岸和田サテライト、南紀熊野サテライト(紀南サテライト)で開講された本研究科の科目の単位が対象になります。

※ただし、修了要件となる単位として認められない場合があります。

・社会人短期履修制度

社会人の場合、本研究科科目等履修生として6単位以上を修得していれば、通常は修了に2年間かかる修士課程を、最短1年で修了することができます。なお、短期履修制度を利用した場合は上記1「税理士試験における一部科目の免除について」の対象とはなりません。

これらの制度を利用する場合は、入学試験合格後に申請が必要です。

3. 長期履修

職業を有している等の事情で、通常の学生よりも1年間の履修可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限されるため、本研究科の標準修業年限(修士課程2年)を超えて履修しなければ課程を修了することができない者に対し、審査のうえ標準修業年限を3年又は4年に延長することを認めます。

長期履修を希望する場合は、入学試験合格後に学務課経済学部係にご確認ください。

IX 学生生活

1. 入学料・授業料免除

文部科学省による高等教育の修学支援新制度により、2020年度から給付奨学金の拡充及び新しい授業料免除制度が実施されています。

本学は、「大学等における修学の支援に関する法律(令和元年法律第8号)」による修学支援の対象機関となる大学として認定されています。

詳細は、学生センターホームページ(授業料/経済援助ページ)をご覧ください。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/fee/>



2. 奨学金

日本学生支援機構奨学金(給付奨学金・貸与奨学金)

詳細は、学生センターホームページ(授業料/経済援助ページ)をご覧ください。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/fee/>

3. 下宿・アパート

市街地及び大学周辺のアパート・マンション等の斡旋は、和歌山大学消費生活協同組合専属提携店(073-456-4155)にて行っていますので、各自問い合わせてください。なお、平均的な物件の家賃は月額35,000~45,000円程度です。

4. ノートパソコンの準備

本学では、個人所有のノートパソコンを活用した授業が実施されています。また、履修登録やレポート及び論文の作成・提出など数多くの機会にパソコンとインターネットを活用しますので、入学までに各自でノートパソコンを必ずご準備ください。

なお、本学ではMicrosoftと包括ライセンス契約を結んでおり、Microsoft 365(Word, Excel, PowerPoint他)を在学中無償で利用することができます。また、学内には無線LANを整

備していますので、在学中自由に利用することができます。

詳細につきましては、下記ホームページにて随時公開すると共に入学手続き時に改めて案内します。

https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/essential_pc/



5. 学生生活に関する問合せ先

問合せ事項	問 合 せ 先
入学料免除, 授業料免除	学生センター(学生支援課) TEL 073-457-7128
奨学金	学生センター(学生支援課) TEL 073-457-7110
ノートパソコンの 準備	学術情報センター(学術情報課) TEL 073-457-7177

和歌山大学大学院 コンビニエンスストアでの検定料払込方法

24時間
支払可能

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

本学HP
からも
アクセス
できます！



<https://e-shiharai.net/>



※確定画面に表示される番号を②の枠内にメモしてください。
※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力直して、新たな番号を取得してお支払いください。
支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

2 コンビニでお支払い

●検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
●店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

7 ELEVEN

【払込票番号 (13ケタ)】
□□□□ - □□□□ - □□□□

●レジにて
「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。
マルチコピー機は使用しません

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」(チケット)を受け取ってください。

LAWSON **MINI STOP**

【お客様番号 (11ケタ)】
□□□□□□□□□□□

【確認番号 (4ケタ)】
□□□□

Loppiへ
各種サービスマニュー
各種代金・インターネット受付
(紫のボタン)
各種代金お支払い
マルチペイメントサービス
【お客様番号】【確認番号】を入力

店頭端末機より出力される「申込券」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

FamilyMart

【お客様番号 (11ケタ)】
□□□□□□□□□□□

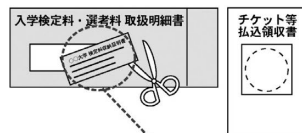
【確認番号 (4ケタ)】
□□□□

マルチコピー機へ
代金支払い
番号入力画面に進む
【お客様番号】【確認番号】を入力

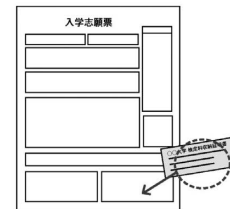
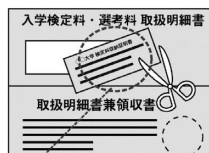
3 出願

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼り出願。

●セブン-イレブン ●ファミリーマート
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「チケット等払込領収書」は保管。



●ローソン ●ミニストップ
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「取扱明細書兼領収書」は保管。



※コンビニでお支払いされた場合、「取扱金庫機開出納印」は不要です。

※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

⚠ 注意事項

- 出願期間を募集要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は15:00まで、コンビニ店頭端末機の操作は15:30までです。
- 「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 一度お支払いされた検定料は、コンビニでは返金できません。
- 検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。